

よくあるご質問

Q 講習時の服装の指定はありますか？

特にありません。屋内外の操縦練習があるため動きやすい服装をおすすめします。

Q ドローンを持っていませんが参加できますか？

講習時のドローンはスクールのものを使用しますので手ぶらで大丈夫です。



Q 年齢制限はありますか？

16歳以上から国家資格を取得できます。70歳以上の方も受講されています。今後は就職や進学にも有利に働きます。

Q 卒業後もドローンの相談はできますか？

機体や航空法などの法律もどんどん変化していますのでお気軽にご相談ください。

Q 店舗でドローンの購入はできますか？

はい、購入できます。お客様の用途に合わせた機体選びをお手伝いし、初期設定や基本操作もサポートします。当店はDJI正規販売代理店のため、各種ドローンを販売。実機を店頭でご覧いただけます。最新機種も随時更新中ですので、お気軽にご相談ください。



アソラボ
ドローンスクール
DRONE LICENSE SCHOOL

ASOLAB.

〒399-0014 長野県松本市平田東 2-14-5

営業時間：平日 9:00 ~ 18:00
運営会社：株式会社 ASOLAB.



屋内練習場



屋外練習場

お電話・メール等でのお問い合わせ

☎ 0263-88-6968

✉ mail@asolab.co.jp

🌐 https://asolab.co.jp



LINEでのお問い合わせ

アソラボドローンスクール
公式LINE

お友達登録でお得な情報を配信中！



松本市内の産業用ドローン専門店が運営する ドローンライセンススクール

国土交通省 登録講習機関



DRONE アソラボドローンスクール LICENSE SCHOOL



アソラボ
ドローンスクール
DRONE LICENSE SCHOOL



アソラボドローンスクールでできる5つのこと

ASOLAB.

ドローンライセンスを取得して
業務を安全に効率的に! 新たな事業展開に!

現場で活かせる、 アソラボ ドローンスクール

ドローン操縦の「プロフェッショナル」へ。

アソラボドローンスクールは
業務用ドローン専門企業の運営する
ドローン講習機関です。

国家資格コースでは、
国土交通省認定の高水準カリキュラムで、
法令遵守から高度な操縦技術までを体系的に習得。

ドローン操縦基礎コースなら、2日間で即戦力に。

柔軟なスケジュールで
実務に直結する技術を習得できます。

取得できる資格・証明書例:

- 国家資格コース: 一等/二等無人航空機操縦士
- ドローン操縦基礎コース: 10時間飛行履歴証明書

1. ドローンを安全に飛ばすために

ドローンは飛ばすだけでなく、安全に運用するための知識が不可欠。航空法をはじめとする飛行ルールの理解と確かな操縦技術が求められます。アソラボドローンスクールでは、実践を重視したカリキュラムで、安全な飛行を徹底指導。業務利用を考えるなら、まずは最新の正しい知識を身に付けましょう。

航空法による主な法令違反(違反すると罰則の対象に!)

項目	ルールの概要	主な罰則
飛行禁止空域	空港周辺・150m以上の上空・人口集中地区などでは許可が必要	50万円以下の罰金
飛行方法の遵守	夜間・目視外・人混み上空等での飛行は禁止(許可が必要)	50万円以下の罰金
飛行計画の通報	無人航空機の特定飛行は、飛行前に計画を通報する義務あり	30万円以下の罰金
リモートIDの搭載	登録機体にはリモートIDの搭載が必須(対象外のケースあり)	50万円以下の罰金

? 飛行禁止空域とは?

ドローンを飛ばしてはいけない場所が定められており、無許可で飛行させると航空法違反になります。

*緊急用務空域について
災害時に捜索、救助活動などで緊急飛行が想定される場合に、飛行規制される空域

許可を受ければ実施可能

- ✈️ 空港等周辺の上空域
- ☁️ 高さ150m以上の空域
- 👤 人口集中地区の上空域
- 🔥 緊急用務空域(*)

? 飛行方法の遵守(安全に飛ばすための10ルール)

飛行空域だけでなく、ドローンをどのように飛ばすかにも厳しいルールが定められています。

許可を受ければ実施可能な6ルール

- 🌙 夜間飛行
- 👁️ 目視外飛行
- 🚶 人と物と30m距離確保
- 🏠 イベント上空飛行
- 📦 危険物輸送
- 📦 物件投下(農業など)

安全確保のため絶対遵守4ルール ※いかなる場合でも禁止

- 🚫 飲酒時の飛行禁止
- 🚫 飛行前確認
- 🚫 衝突予防
- 🚫 危険な飛行禁止

? 見逃しがちなルール(特に重要!)

1. 飛行計画の通報とは?

2022年から無人航空機の特定飛行(許可を受ければ実施可能な飛行禁止空域3つ・飛行方法の遵守6ルールのこと)を行う場合、国土交通省に飛行計画を事前通報する必要があります。通報を怠ると罰則の対象になるため、業務利用を考えている方は要注意!

2. リモートIDの義務化

2022年6月より、登録済みのドローンはリモートIDを搭載することが義務化されました。これにより、飛行中のドローンの識別が可能になり、安全性が向上。違反すると罰則が科されるため、登録と確認を忘れずに!

2. アソラボドローンスクールが選ばれる理由

<h3>1</h3> <p>仕事に直結するカリキュラム</p> <p>点検・測量・空撮など、ビジネスで役立つスキルを学べる。</p>	<h3>2</h3> <p>短期間で確かな技術を習得</p> <p>初心者でも最短コースで飛行技術とルールを身につけられる。</p>	<h3>3</h3> <p>資格取得 + アフターサポート</p> <p>国家資格を取得後も、実務の相談ができる。</p>	<h3>4</h3> <p>実機を見て、触れて、選べる</p> <p>受講時に実機を確認でき、購入時の不安を解消。</p>
--	--	---	---

3. 仕事に活かせるドローン操縦スキル

ドローンの商用利用が広がる中、業務で求められるのは安全に飛行できる操縦技術だけでなく、正しい知識に基づいた判断力と、実務に必要な飛行経験です。アソラボドローンスクールでは、「実際に仕事で使える状態になること」をゴールに、操縦技術と知識を身につけ、飛行経験を積むためのコースと技能を証明するためのコースを用意しています。

ドローン操縦基礎コース P6,7

実務に直結する操縦技術・知識・飛行経験を身につけるコース

操縦の基礎と安全・法知識を、2日間の講習と操縦訓練を通じて体系的に学びます。基本から応用操作までを段階的に習得しながら、申請時に確認対象となる「飛行経験10時間」や「安全・法知識」を踏まえた内容で、10時間の飛行経験を積むことができます。

※本コースでは、10時間飛行履歴証明書を発行します。

国家資格コース P4,5

国家資格取得を目的とした操縦・知識講習コース

国家資格(一等・二等無人航空機操縦士)の取得を見据え、操縦技術・航空法規・安全運航に関する知識を体系的に学びます。国土交通省の教則に基づき、「経験者向け」「初学者向け」の各コースをご用意しています。

スクールでは学科・実技講習および実技試験を実施し、学科試験は国が指定する試験機関で受験します。

あなたはどのコース?

- ▶️ すぐにドローンを使う予定がある → **ドローン操縦基礎コース**(操縦+知識+10時間飛行履歴証明書)
- ▶️ 国家資格を取得したい → **国家資格コース**
- ▶️ 操縦技術も資格も必要 → **ドローン操縦基礎コース+国家資格コース(経験者向け)**

4. ドローンの未来とこれからの活用

ドローンの活用は、点検・測量・空撮だけでなく、物流や災害支援などの分野へと広がっています。すでに一部の地域では導入が進み、今後さらに市場が拡大していきます。ドローンの未来は、すでに動き出しています。

地域とつながる株式会社ASOLAB.の取り組み

ドローンによる災害支援協定を締結:

- 飯田市(長野県)
- 喬木村(長野県)

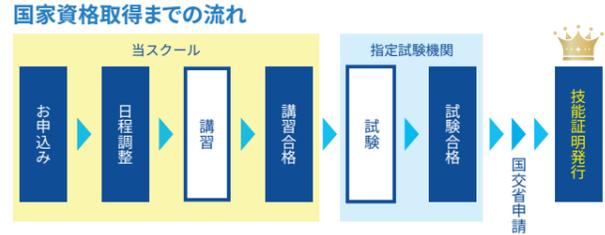
※2026年3月現在



国家資格取得を目指す、試験基準対応コース アソラボドローンスクールの 国家資格コース



アソラボドローンスクールでは、ドローン国家資格「一等・二等無人航空機操縦士」の取得を目指せます。試験基準に沿った内容を、対面・個別指導で着実に身につけます。一人ひとりの理解を確認しながら進めるため、初学者の方も安心して学べます。各種申請手続きのサポート(オプション)にも対応しています。



ドローン国家資格「1等操縦士資格」「2等操縦士資格」の違い

どのカテゴリでドローンを飛行させるかによって「1等操縦士資格」「2等操縦士資格」の有無が分かります。

飛行カテゴリ	カテゴリ詳細	飛行レベル	該当資格
カテゴリⅢ 	最もリスクの高い飛行 有人地帯上空での補助者無し目視外飛行 など	レベル4 有人地帯上空で、補助者無しでの目視外飛行	国家資格 1等操縦士資格
カテゴリⅡ 	比較的リスクの高い飛行 人が少ないエリアの上空での、補助者のいる目視外飛行 など	レベル3 無人地帯での補助者無し目視外飛行	国家資格 1等操縦士資格 2等操縦士資格
カテゴリⅠ 	リスクの低い飛行 人が少ないエリアでの、日中における目視内飛行 など	レベル1 目視内操縦飛行 (マニュアル操作)	

講習時間

ドローン操縦 初心者 の方				ドローン操縦 経験者 の方			
受講する資格	実地(実技)	座学	合計	受講する資格	実地(実技)	座学	合計
1等操縦士資格	50時間	18時間	68時間	1等操縦士資格	10時間	9時間	19時間
2等操縦士資格	10時間	10時間	20時間	2等操縦士資格	3時間	4時間	7時間

受講コース内容

ドローン操縦**初心者**の方

初学者 カテゴリⅠ カテゴリⅡ 「2等操縦士資格」講習

	限定変更			
	入学金 ¥80,000	基本 ¥200,000	目視内 ¥25,000	昼間 ¥15,000
基本 ¥308,000(税込) ¥280,000(税抜)	●	●	●●	☀
目視内セット ¥335,500(税込) ¥305,000(税抜)	●	●	●	
目視内・昼間セット ¥352,000(税込) ¥320,000(税抜)	●	●	●	●

※目視内:目視内飛行の限定変更 昼間:昼間飛行の限定変更

限定変更とは?
特定の飛行制限を解除し、より自由な飛行を可能にする手続きです。追加の講習や試験で夜間飛行や目視外飛行が可能になります。

初学者 カテゴリⅢ 「1等操縦士資格」講習

	限定変更			
	入学金 ¥37,000	基本 ¥706,000	目視内 ¥75,000	昼間 ¥15,000
基本 ¥817,300(税込) ¥743,000(税抜)	●	●	●●	☀
目視内セット ¥899,800(税込) ¥818,000(税抜)	●	●	●	
目視内・昼間セット ¥916,300(税込) ¥833,000(税抜)	●	●	●	●

※目視内:目視内飛行の限定変更 昼間:昼間飛行の限定変更

限定変更とは?
特定の飛行制限を解除し、より自由な飛行を可能にする手続きです。追加の講習や試験で夜間飛行や目視外飛行が可能になります。

ドローン操縦**経験者**の方

経験者 カテゴリⅠ カテゴリⅡ 「2等操縦士資格」講習

アソラボ卒業生	限定変更			
	入学金 ¥0	基本 ¥105,000	目視内 ¥35,000	昼間 ¥35,000
基本 ¥115,500(税込) ¥105,000(税抜)		●		
目視内セット ¥154,000(税込) ¥140,000(税抜)		●	●	
目視内・昼間セット ¥192,500(税込) ¥175,000(税抜)		●	●	●

その他	限定変更			
	入学金 ¥5,000	基本 ¥105,000	目視内 ¥40,000	昼間 ¥40,000
基本 ¥121,000(税込) ¥110,000(税抜)	●	●		
目視内セット ¥165,000(税込) ¥150,000(税抜)	●	●	●	
目視内・昼間セット ¥209,000(税込) ¥190,000(税抜)	●	●	●	●

経験者 カテゴリⅢ 「1等操縦士資格」講習

アソラボ卒業生	限定変更			
	入学金 ¥0	基本 ¥291,000	目視内 ¥75,000	昼間 ¥15,000
基本 ¥320,100(税込) ¥291,000(税抜)		●		
目視内セット ¥402,600(税込) ¥366,000(税抜)		●	●	
目視内・昼間セット ¥419,100(税込) ¥381,000(税抜)		●	●	●

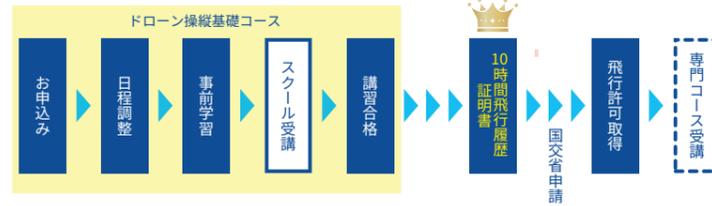
その他	限定変更			
	入学金 ¥39,000	基本 ¥291,000	目視内 ¥85,000	昼間 ¥25,000
基本 ¥363,000(税込) ¥330,000(税抜)	●	●		
目視内セット ¥456,500(税込) ¥415,000(税抜)	●	●	●	
目視内・昼間セット ¥484,000(税込) ¥440,000(税抜)	●	●	●	●

許可・承認申請を見据えた、操縦と安全の基礎コース

アソラボドローンスクールの ドローン操縦基礎コース

操縦の基礎と安全・法知識を2日間で学ぶ集中コースです。基礎から応用操作まで段階的に習得します。許可申請時に求められる「飛行経験10時間」や「安全・法知識」を踏まえた内容で、実務に入るための条件を整えます。国家資格へのステップアップや専門コースの追加受講も選択可能です。

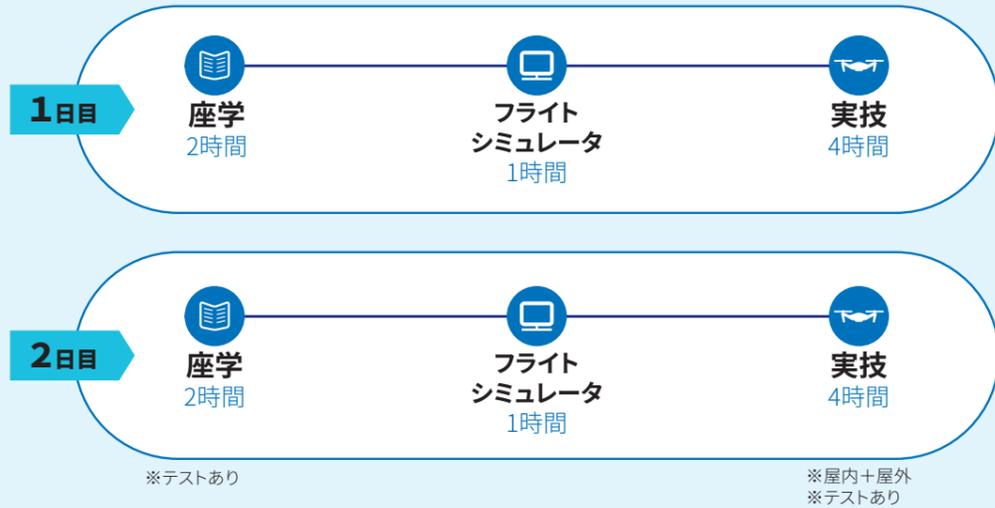
ドローン操縦基礎コース受講の流れ



ドローン操縦基礎コース

目視内飛行による基礎操縦から空撮や点検業務に活用できる応用操作、安全運航のための法律やリスク管理を学べます。

2日間



+

追加 /

3日目 専門コース

ドローン操縦基礎コースにプラスして専門技術を学びます。ドローン利用の主要2シーンを想定したアソラボオリジナルの実践コースです。講師は専門分野の現役パイロットが担当します。

1日間

飛行許可取得後

高所・インフラ点検コース

ドローンを使用した高所・インフラ設備の点検業務を、座学と実技を組み合わせ実践形式で学びます。



測量コース

ドローンを使用した3D測量を、座学と実技を組み合わせ実践形式で学びます。

ドローン測量、点群作成、縦横断面取得までを実際の土地を使用しながら習得



料金表

ドローン操縦基礎コース ¥150,000 2名同時受講 ¥120,000 / 1人 ※3名以上は要相談	特徴 10時間飛行履歴証明書 	¥150,000 税込 ¥136,364 (税抜) 2名同時受講 ¥120,000 / 1人 助成金対象
ドローン操縦基礎コース ¥150,000 2名同時受講 ¥120,000 / 1人	+ 国家資格(2等・経験者)コース ¥115,500 詳細はP4,5へ	¥265,500 税込 ¥241,364 (税抜) 2名同時受講 ¥235,500 / 1人 助成金対象
ドローン操縦基礎コース ¥150,000 2名同時受講 ¥120,000 / 1人	+ 高所・インフラ点検コース ¥88,000	¥238,000 税込 ¥216,364 (税抜) 2名同時受講 ¥208,000 / 1人 助成金対象
ドローン操縦基礎コース ¥150,000 2名同時受講 ¥120,000 / 1人	+ 測量コース ¥110,000	¥260,000 税込 ¥236,364 (税抜) 2名同時受講 ¥230,000 / 1人 助成金対象

オプション

▶ 申請手続きサポート【8つのPOINT】

¥33,000 (税込)

- ①DIPS - ID作成
- ②必要となるアカウント作成
- ③機体のアクティベーション
- ④Care Refresh登録 (DJI機体)
- ⑤機体登録+リモートID (DIPS)
- ⑥UASLevel2の資格証と10時間飛行履歴証明書の添付
- ⑦飛行マニュアルの添付 (国交省版orカスタマイズ版)
- ⑧飛行計画の通報・飛行日誌の作成方法

▶ 現場帯同サポート

※半日・長野県内交通費込

¥55,000 (税込)

飛行許可取得後

飛行許可取得後

国土交通省の飛行許可申請を取得した後に受講できます

10時間飛行履歴証明書とは？

許可申請時に10時間飛行の証明ができる

10時間飛行履歴証明書は、無人航空機の操縦経験が一定時間あることを証明する書類です。飛行許可・承認申請の際には、「これまでに10時間以上の飛行経験があるか」を申告する項目があり、申請内容に応じて、実際に10時間飛行を行っているかを確認される場合があります。その際、10時間飛行履歴証明書があることで、操縦経験を客観的に示すことができます。

経験者向け国家資格コースで資格取得へ！

経験者向け国家資格コースはドローン操縦基礎コース修了者や、民間資格をお持ちの方向けの国家資格コースです。10時間飛行履歴などの操縦経験を前提に、試験で求められる飛行方法と知識に特化して学びます。アソラボドローンスクールではドローン操縦基礎コース修了者に、この10時間飛行履歴証明書を発行し、ドローン経験者として扱います。

企業でライセンス取得の場合、利用できる助成金があります！

対象者

申込者が雇用保険適用事業所となる事業主であり、受講者が従業員であること ※会社役員は対象外

対象コース

全コース (オプションも助成金対象) ※ドローン操縦基礎コースのみは対象外

注意

受講開始まで
少しお時間がかかります
申請期間 約1か月半～2か月

例: 国家資格コース「2等操縦士資格(初学者)」講習 1名受講

(280,000円(税抜)×75%=210,000円) + (20時間×960円=19,200円) = 229,200円
実質負担=280,000円-229,200円=50,800円

助成金計算式 [受講料(税抜)×75%助成] + [講習受講時間×¥960/時]

※受講料には別途消費税がかかります。
※申請を社労士に依頼すると手数料がかかります。

受講料
75% OFF